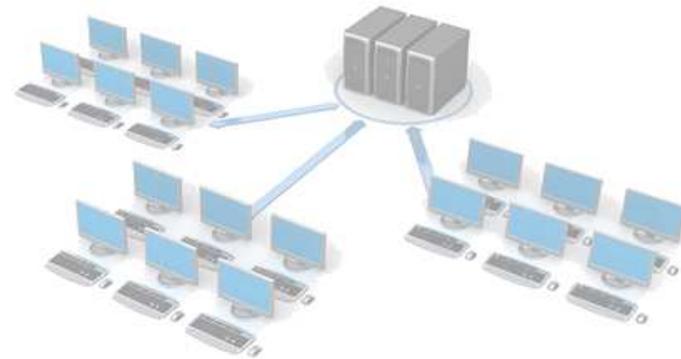


Straw Face

- ストロー フェイス -

新時代のドキュメント管理システム



SNS+クラウドで実現するドキュメント マネージメント

Uprise - CPS

Straw Face

SNS活用の企業間情報共有管理システム

メールが主役の時代は終焉

日本の企業間情報は、いまだに **9割のデータがメールを介して**行われています。これは、企業間データの共有・連携がまったく進んでいない現状を反映しています。では、そのメールでの情報交換にはどのような問題点があるのでしょうか。

- ① ウィルス感染のリスク
- ② 二重データのリスク
- ③ 既読確認が不可能
- ④ 送受信可能容量が小さい
- ⑤ 情報セキュリティが脆弱
- ⑥ 履歴管理が出来ない



最近、情報漏えい等のセキュリティ問題が叫ばれている中、多くの企業がメール依存から抜け出せない現状に悩んでいます。ただ、もしかすると、問題そのものが認識されていない可能性もあります。

ストローフェイスとは何か

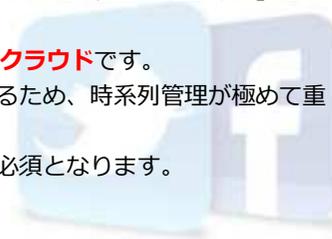
SNS + クラウド = ストローフェイス

このメールによる情報交換の問題を解決するために開発されたのが「ストローフェイス」という仕組みです。

フェイスブックが日本に上陸する1年前に開発された、**SNS型クラウド**です。

特に印刷データは、何度もネット上をドキュメントが行き来するため、時系列管理が極めて重要な意味を持ちます。

印刷データの管理には、今後ストローフェイスのような仕組みが必須となります。



- 情報管理の発想が変わる -

Change a management concept

SNS型クラウドが情報共有に最適な理由

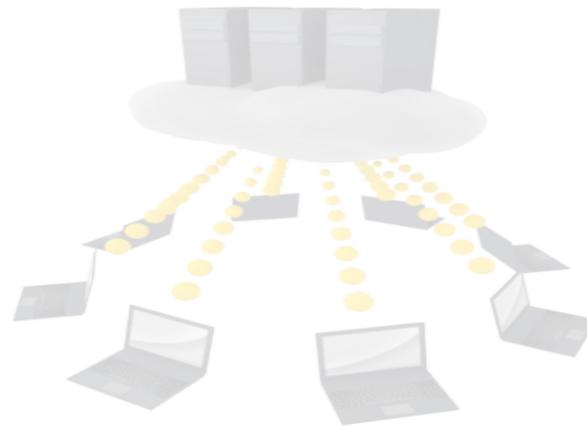
今までも、企業では「グループウェア」という情報共有ツールを利用しています。主に「ワークフロー」等に利用されていましたが、ストローフェイスも発想は同じです。情報をサーバー上で共有し、「いつ・誰が・何を・どうした」というトレーサビリティ（履歴管理）を行っていたものを「企業間」に広げものです。

このストローフェイスを利用することの効果は絶大です。

- ① アマゾンクラウド上での一元的なウイルスチェック
- ② データの時系列管理が可能（過去データの有効活用）
- ③ 既読機能による、情報伝達不備の解消
- ④ 二重データの回避
- ⑤ 1対1 SNS、グループSNSを利用した、多様な情報共有形態が可能
- ⑥ 個人レベルでのドキュメント管理にも活用

使い方によっては無限の可能性があり、うまく運用できれば、これほど便利な仕組みはありません。

しかも**すべてのサービスが無料**で利用頂けます。



Straw Face

招待されない限りシステムを利用できない

がフェイスブックやツイッターには主従関係は存在しませんが、ストローフェイスは、ID保有者（利用者）から招待されない限りシステムを利用することはできません。

これは、悪意のある第三者がシステムに進入することを防ぐ目的と、「責任の所存を明確にする」ためです。

また、ID登録と言った煩雑な作業を無くすという目的があります。



会社概要

会社名 有限会社アップライズ

代表者 代表取締役 宇津江 靖

本 社 〒340-0021 埼玉県草加市手代町806
TEL : 048-951-2592 FAX : 048-0951-2593
WEB : <http://www.straw-jp.biz/index.php>
Mail : twi@straw-jp.biz

関連会社 有限会社 CPS
〒112-0002 東京都文京区小石川4-14-24
TEL : 03-5840-7847 FAX : 03-5840-0239

事業内容

- ・印刷関連全般・SNS型クラウド】ストローの開発運営
- ・インターネット通販事業・WEBシステムの開発運営・ホームページ作成・

Straw Face

ドキュメントは資産

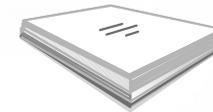
当社はシステム開発と印刷がメインの会社です。

さらに、10年以上前からドキュメントの管理について研究しており、そのツールも開発して参りました。

そしてこのストーリーフェイスは、今まで当社が開発してきたツールを基に、それらを集約したWEBシステムです。

つまり、ドキュメントを管理する上で必要となる要素を備えた「結論形」と言えます。

「ドキュメントは資産」だという認識が一般的となり、企業内に存在する種々のドキュメントを如何に効率的に安全に管理できるかが、企業にとって極めて重要なテーマとなっています。



なぜSNS型管理なのか

当社が今まで「ドキュメント管理」について研究してきた中で、一つの「答え」があります。

それは、「四次元管理」です。

一般的には「トレーサビリティ（履歴管理）」と同意だと思われていますが、四次元管理と履歴管理には、決定的に異なる点があります。

それは、「動的か静的か」です。

履歴管理とは、リアルタイムで管理するものではなく、「足跡」を管理するための発想です。

これに対して四次元管理とは、お互いが「今起こっていること」を確認していき、さらにそれを「履歴」として残す管理を言います。

わかりやすく言うと、ツイッターやLINEがこれに当たります。

当社はこの発想を今から8年前に考え「ストーリーの開発」を始めました。

つまり、SNSベースでドキュメントを管理することが最善の管理方法だという結論です。



- ストローフェイスでドキュメントが変わる - *Change a Document Management*

■ 全て無料のクラウドサービス

FREE

ストローフェイスは完全無料のクラウドサービスです。

なぜ、無料なのか。

それは、当社が印刷会社だからです。

印刷会社にとって、お客様の大切なドキュメントデータを管理するのも重要な役割です。

そのためシステムは、あくまで「ドキュメントのための管理ツール」だという認識です。

印刷会社は「サービス業」です。

ドキュメントを「印刷物」にするだけが印刷会社の仕事ではありません。

再利用可能な形で管理するシステムをご提供することも、「当社の重要な役割」だと考えております。

■ メールでの情報共有は最悪の選択肢

当社のドキュメント管理は如何にメールを利用しないか、というスタンスからスタートしていません。

一般的には、今だに顧客間の情報共有はメールが主役です。

これは、日本の大企業も例外ではありません。

当社は「メール」は諸悪の根源だと言い続け、メールによる情報共有のリスクを説明し続けてきました。

では、なぜメールがいまだに主役でい続けられるのか。

答えは簡単です。

それに替わる手段がなかったためです。

それを証拠に個人レベルではメールからLINEに「情報共有」の手段は移ってきています。

しかし、セキュリティーの問題やドキュメントを管理する目的ではないため、企業レベルでは浸透していません。



Straw Face

- ドキュメント管理と情報共有のための三種類のSNS -

■ 目的別 三種類のSNS型クラウド

ストローフェイスには目的に合わせて3つのSNSがあります。

- ① グループ
- ② S_LINE
- ③ C_LINE

① グループ

グループとは「多対多」のSNSです。

目的に応じて「管理者」が参加するメンバーを招待し、グループを形成します。

② S_LINE

S_LINEとは一対一でのグループで「メール」と同じ機能を果たします。

③ C_LINE

C_LINEとは、おそらく世界中でストローだけに備わる機能だと思われます。
企業内で一度に複数の一対一SNSを構築するための仕組みです。



- ストローフェイスでコミュニケーションが変わる - *Change a communication*

- ドキュメント管理と情報共有のための三種類のSNS -

■ グループ 多対多のグループセッション

ひとつのプロジェクトを完結する場合、多くの関係者と情報を共有する必要があります。ストローフェイス内で「グループ」を作り、そこに関係者を招待することで、複数のユーザーで情報を共有することが可能となります。

■ S_LINE 一対一の対話セッション

ユーザーのアドレス帳に相手方のアドレスを入力し追加登録するだけで、相手方に招待メールが送信されます。

相手方は受信したメール内にある「アドレスをクリック」するだけで、S_LINEは開通します。特にユーザー登録やパスワード設定と言った、面倒な処理は必要ありません。

■ C_LINE 一対一SNS同時大量構築システム

C_LINEとは「コーポレートライン」のことです。

企業内でメールによる情報交換をすることも多いと思います。

しかし、メールでの情報共有はリスクが高く、また管理と言った点では問題が多すぎます。

C_LINEとは、このような問題を解決するために考えられた仕組みです。

S_LINEでも同じ機能を有しますが、例えば10人がそれぞれS_LINEを結ぼうと思うと、45回分の処理が必要となります。

この手間を省くため、C_LINEでは管理者が10人のアドレスをC_LINE登録するだけで、一対一のSNSを、一度に構成することが可能となります。

また、管理が一元化されるため、人の移動時にも有効となります。

コーポレートIDが同時に付加され、ドキュメントのクラウド登録が無制限で可能となります。

Straw Face

- 印刷・WEBノウハウと

ドキュメント管理で印刷業界に革命が起きる -

Print Knowledge

印刷知識

当社は全員が印刷会社出身です。
しかし、印刷会社と言っても現場を持たない印刷会社ではなく、オフセット印刷機を数十台保有する会社です。
そのお客様も同様に印刷会社です。
つまり、印刷会社に印刷のノウハウを説明する立場だった訳です。
独立後、そのノウハウを活かし、多くの印刷会社のシステムも構築してまいりました。
印刷会社のシステムは、印刷のノウハウなくして構築は不可能です。

このような私共の知識を活かし、お客様から要求される印刷内容を瞬時に判断し、データ作成から製本・加工に至る詳細を、即座にご提案致します。
印刷は単純に安く作成すればいいというものではありません。
如何に効率的に作業を進め、また、無駄を無くすことができるか。
それが、印刷物を安く・早く・美しく作る近道となります。
印刷単価だけで印刷全体の価格は決定できないのです。

WEB System

WEBシステム

今の時代、インターネットを抜きにして印刷業界を語ることはできません。
ストローフェイス自体もWEBシステムですが、お客様で作られたドキュメントの多くはWEBページと密接な関係にあります。
すでにドキュメントは印刷のため、あるいはWEBのためという特定の目的ではなく、マルチメディアに適合することを前提に考える必要があります。
当社は、WEBシステムを開発してきた会社です。
そのノウハウを活かし、ドキュメントのマルチメディア戦略をご提案致します。

- ストローフェイスで印刷が変わる -
Change a Printing System

- 印刷・WEBノウハウと

ドキュメント管理で印刷業界に革命が起きる -

Management Know-how 管理ノウハウ

当社のもう一つの強みは、ドキュメントを管理することを最重視し、システム構築してきた点にあります。

ストローフェイスをお使い頂ければ、正に「目からうろこ」です。

今まで苦労してきた「ドキュメント管理」がこれほど容易に行えるのかと驚かれるはずです。

Net Wortk 業界ネットワーク

印刷という仕事はひとつの会社ですべてを完結することは不可能です。

大手の大日本凸版でも、その仕事の大半はネットワークを利用しております。

そのため、印刷業界ではこのネットワークという側面が極めて大きな意味を持ちます。

当社は出身印刷会社であり、さらに印刷会社へのシステム構築を経て現在に至っているため、極めて広い業界ネットワークを有しております。

About CPS CPSについて

当社の強力なパートナーCPSについてご紹介いたします。

CPSもまた、当社と同様に印刷会社出身者が立ち上げた会社です。

特徴も当社と近いものがあります。

もっとも大きな特徴は、そのネットワークにあります。

CPSに頼めば、出来ない者はないぐらいのネットワークを有しています。

当然、印刷ノウハウは極めて高く、当社が一目置く存在となっております。